



クリスマスイブの
雰囲気

増やしたい サンタさんのような 思いやりのある人

私のボランティア考

中央大学大学院修士1年 白尾 陸



自己紹介

こんにちは！ 中央大学大学院理工学研究科物理学専攻修士課程1年の
白尾陸と申します。今回は僕の所属している団体「チャリティーサンタ」の活動内容
やそこに至った背景などをお話できればと思います。



院生でもボランティア活動をしている理由

私自身が「ボランティア」というものに興味を持ち始めたのは学部3年次です。教職課程を履修していた関係もあり、「子ども」や「教育」には興味がありました。そのため学童施設、不登校支援など様々なイベント、施設を訪問し、子どもたちと触れ合ってきました。

その中で貴重な経験をさせていただいたという半面、私の心の中

はモヤモヤとしていました。

このモヤモヤは目の前にいる子どもを仮に笑顔にできたとしても、それはたった一人でその場だけの笑顔であると感じたところからきていました。

このモヤモヤを解決できる、より多くの子どもに思い出として心に残る笑顔を届けたい、そんな思いを叶えられたのが「NPO法人

チャリティーサンタ」での活動でした。

それまでは、一参加者としてしかボランティアに関わってきませんでした。学生生活も残りわずかであり、最後に大きなことを核として関わりたい、そんな思いからチャリティーサンタの運営の立場で活動をしています。



子ども・教育関係の活動を続けている理由

子どもは純粋で素直です。一緒に遊んだり、勉強をしていたりするときに出るまっすぐな目をした直球の意見には魅せられるものがあります。

一緒にいると子ども心を思い出せるような気がします。私のなりた

い大人像は子どもらしさを兼ね備えた大人です。

抽象的な表現ですが「変に大人になる」というのは避けたいと思っています。偏見や先入観にかられて、本質を見抜けなくなってしまうと感じることがあります。

子どもはその見抜く力に長けており、私にとって良い先生です。私が子どもたちから毎回違う学びを得られることが面白く、子ども・教育関係の活動を続けています。



チャリティーサンタ10周年の絵





チャリティーサンタの活動内容

サンタさんがプレゼントを持ってきてくれる...そんな想像、誰しもがしたことがあるのではないのでしょうか。

そんな思いを自分の子どもに叶えさせてあげたい、そして誰かのサンタクロースになって届けたい。同じ思いの人達をつなぐのがチャリティーサンタの役割です。

どんな子どもにも平等にプレゼントと思い出を届ける活動をしています。これがメインの活動で団体名の通り、サンタクロースの活動をしています。

しかし、これが目的ではありません。目的は「サンタのような思いやりのある人」を増やしていくことです。

クリスマスイブの活動は、あくまでその手段として行っています。また、この目的を叶えるための活動の一つとして、子どもの未来におくる「未来の手紙」があります。

2分20秒ほどの心温まる素敵な動画ですので、以下のQRコードからぜひご覧ください。

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=8TOPinBMGB8>



私が感じるチャリティーサンタの魅力

活動の最大の魅力は、クリスマスイブの日に誰かのために何かをしたい人達が集まるので、一緒にいて温かい気持ちになる人ばかりであることです。

「子どもに秘密な活動」であるため、基本的にテレビ出演などができません。素敵な活動だけど、広報は子どもには知られてはいけないというのが難しいところです。

それでも規模としては北海道から沖縄まで全34支部ある、今年で

10周年を迎えた大きな団体です。

これはそんな人たちの集まりだからこそ、ここまで制限がある中、ボランティアであるのにこの規模になっているのだと感じます。

また、未経験にかかわらず、でもマーケティングやウェブサイトの作成などに関われることも魅力です。

社会人と学生の割合はおおよそ1:1で社会人の方も業種は様々です。ITに強い方、弁護士、看護師、教員、保育士など各方面で活

躍されていてスキルを持っている方がいます。

学生でも新しいことに挑戦できる環境にもなっています。そして、学生は学生なりのバイタリティなどが重宝されて活躍する場もあります。

学生が社会人のもとで活動するわけではなく、お互いに刺激をし合って共に一つの目標に向かって活動をし、成し遂げることにはかなりのやりがいを感じます。



最後に

このチャリティーサンタの活動、全国に34支部あると申し上げました。なんとその中に文京支部と多摩支部があるんです!(笑)

中央大学の理系キャンパスと文系キャンパスの近くに拠点を置いているので参加しやすいと思います。

本稿をお読みくださった方の中から、一緒に活

動したいという方が出てきたら(思ってくれるだけでも)うれしさはの上ありません。

クリスマスが終わっても一緒に活動したい方を受け付けております。皆さんの参加をお待ちしています。

最後まで読んでくださりありがとうございました!

